

新刊図書の中から紹介（平成22年9月21日掲載）

県立図書館に来館されての貸出し、予約申込みは9月28日（火曜日）からです。

インターネットからの予約申込みは10月6日（水曜日）からです。

書名	著者名	出版社	内容紹介 【図書館流通センター(TRC) MARCより】
名画で読む聖書の女 たち	秦 剛平	青土社	<p>内容紹介：受胎告知を受けたもう1人の聖女、民族を救った美貌の王妃から、近親相姦で人類を救おうとした女、娼婦に化けてしゅうとを騙した女、敵将の首を取った猛女まで。聖書を華やかかつ妖しく彩る過激な女たちの相貌を絵解きする。</p> <p>著者紹介：1942年生まれ。多摩美術大学教授、同大学新図書館館長。ヘレニズム・ユダヤ教を中心に初期キリスト教などの研究に携わる。著書に「旧約聖書を美術で読む」「描かれなかった十字架」など。</p>
秘境に学ぶ幸せのか たち	田淵 俊彦	講談社	<p>内容紹介：南米アマゾン、アンデス山脈、ヒマラヤ、アフリカの大地、アジアハイウェイ…。秘境に魅せられ、約20年間にわたって現地取材を続ける著者が、逞しく生きる人々の実像から人と人の絆、命の意味を問い直す。</p> <p>著者紹介：1964年兵庫県生まれ。慶應義塾大学法学部卒。テレビ東京プロデューサー、ディレクター。</p>
ドラッカー・ディフ アレンス	クレイグ・L. ピアース	東洋経済新報 社	<p>内容紹介：なぜドラッカーは今なお読まれるのか。何がドラッカーと他の論者を決定的に分け</p>

			<p>るのか。ドラッカーのものの見方・考え方を実地適用し、現代の教養たるマネジメントをリベラル・アーツから再解釈する。</p> <p>著者紹介：クレアモント大学院大学ピーター・F・ドラッカー&マサトシ・イトウ・スクール教授。</p>
子どもと歩けばおもしろい	加藤 繁美	ひとなる書房	<p>内容紹介：大人は常に完ぺきな対応ができるわけではありません。でも、それでいいのです。子どもが成長していく過程に合わせて、子どもと対話する力を伸ばせばいいのです-。子育てに悩む全ての人に贈るメッセージ。</p> <p>著者紹介：1954年広島県生まれ。名古屋大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。山梨大学教育人間科学部教授(幼児教育講座)。著書に「しあわせのものさし」「子どもへの責任」など。</p>
ゴンドラの文化史	アレッサンドロ・マルツォ・マーニョ	白水社	<p>内容紹介：ヴェネツィアの象徴としてのゴンドラについて、デザインやイメージの変遷から、ゴンドリエーレの生き様、さまざまなエピソードまで、年代記や小説、映画を駆使して紹介する。</p> <p>著者紹介：1962年ヴェネツィア生まれ。ヴェネツィア・カ・フォスカリ大で歴史学の学位を取得。フリージャーナリストとして『コリエーレ・デッラ・セーラ』紙をはじめ、さまざまな新聞、雑誌で活躍。</p>